

## 【2016年度の総括】

## ① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	56,124	93.5	⇒
支出	45,017	98.8	⇒
経常収支差額	11,107	76.9	⇒

評価：年度登録者22名のスタートが行えた。年度途中で入院された方、施設入居された方が続いた。その後、元の登録者数にはなったものの、要介護度状況の差、介護度が下がる等も続き、更に減収となり予算の達成には至らなかった。また、今年度においても新規登録数の伸び悩みが続いた1年であったが、年明け頃より、地域や包括からの相談件数が伸び、登録者数も増となってきている。



## ② 職員配置と研修（職員数は2017年1月現在）

## 【職員配置】

・常勤5名（内訳：管理者1名はGHと兼務、ケアマネ1名、介護職3名）、非常勤10名（内1名は看護師）  
→年度初めに常勤職員1名が非常勤職員となり、常勤職員1名が欠員のまま経過。また12月に非常勤職員1名を採用。欠員はあるが退職した職員はおらず、年間通して安定した職員体制であった。

## 【研修】

・部門内部研修に関しては今年度から、小規模単独での内部研修とする事でより具体的に、実践に即した研修を開催する事が出来た。課題として、19時からの開催である為、参加出来る職員が少ない研修もあった。また日中開催で補う事も困難であった。

・法人内部研修では、夜の時間帯に職員を確保する事が難しく不参加となる事が多かったが、職員が参加対象となる研修数自体が少なかった。外部研修では、認知症介護実践者研修に1名参加。

・他部署間交流に1名参加。

## ③ 事業内容

## 【利用者登録者数】

・登録21名でスタートしたが、2名様が入院、3名様が他施設へ入所、1名様が契約終了となり10月時点で17名の登録となる。（その間2名の新規登録あり）その後、3名の新規登録あり1月末現在、20名の登録。ご利用者減から、新規登録までの期間が長かった事が、収入減の大きな要因であった。

## 【年間事業計画】

・前年度はGHとの合同企画、地域交流を主とした企画実施であったが、今年度はそれらを大切にしつつも、まずは小規模のご利用者楽しんで頂ける企画、またそれぞれの企画が連動する企画（その場だけではなく、次の企画つながる）を意識し立案した事で、ご利用者さんの笑顔の写真が沢山撮影出来た1年であった。

## 【2017年度の計画】

### ① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	58,800		
支出	49,085		

### ② 主課題

「過去最高収益を目指す」

→収益を確保し、職員が安心して長期的に働ける部署、それぞれが希望の働き方が出来る部署を目指す。

→最低でも年間通して登録平均 23 名を維持する。また 2018 年度以降、小規模であいのサテライト展開も視野に入れ、登録 25 名を目指す。

### ③ 年間事業計画（予定）

4月	お花見	1月	Y's BAR～冬の陣～
5月	つつじ観賞	2月	節分
	母の日		バレンタイン
6月	保育所交流会	3月	ふらっと楽しむすみよし
	父の日		
7月	流し素麺～部署内開催～	【研修】	6月「感染症」
	流し素麺～地域開催～		8月「認知症」
	Y's BAR～夏の陣～		10月「介護技術」
8月	盆踊り		12月「プライバシー保護」
9月	敬老の日		2月「リスクマネジメント」
10月	であい祭り		
	ハロウィン	【会議】	毎月全体会議
11月	秋の旅		偶数月 地域運営推進会議
12月	保育所交流会		奇数月 小規模事業所連絡会
	忘年会		毎週月曜 ケース会議
		【地域】	それぞれの利用者さんの地域を知る関わりを随時実施。